

2020年3月16日

各 位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム  
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛  
(コード番号: 3814 東証 J A S D A Q)  
問合わせ先 取締役管理部長 菊本 健司  
電話番号 0 8 3 6 - 3 9 - 5 1 5 1  
U R L <http://www.afs.co.jp/>

(訂正・数値データ訂正) 「2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、2019年2月13日に開示いたしました「2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送付いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)

## 2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年2月13日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム 上場取引所 東  
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 菊本 健司 TEL 0836-39-5151  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年9月期第1四半期の業績(2018年10月1日~2018年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	383	△26.9	△65	-	△64	-	△44	-
2018年9月期第1四半期	525	△6.5	28	△15.0	26	二	17	二

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	△17.95	-
2018年9月期第1四半期	6.90	-

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	2,119	589	27.8	239.19
2018年9月期	2,209	658	29.8	267.18

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 589百万円 2018年9月期 658百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2019年9月期	-				
2019年9月期(予想)		0.00	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,270	36.4	128	545.6	118	761.5	79	978.7	32.07
通期	2,800	45.7	400	734.5	380	985.3	254	二	103.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期1Q	2,513,800株	2018年9月期	2,513,800株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	50,300株	2018年9月期	50,240株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期1Q	2,463,534株	2018年9月期1Q	2,463,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

2019年9月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復基調で推移したものの、世界経済の不確実性の高まりから先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食市場におきましては、大手を中心に比較的前年を維持しているものの、消費者の節約志向は根強く、食材価格の高騰や、少子高齢化を背景とした人手不足が深刻な状況で、当社の事業領域として、依然、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、外食チェーンを中心に、創業時より一貫した食材ロス削減によるコスト削減システムをASP/クラウドサービスで提供するとともに、POSシステム、オーダーリングシステムなどの業界専用のシステム機器を提供してまいりました。2015年からは、“食”産業のあらゆる業種/規模に対応し、コスト削減を実現するパッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」を提供し、ソフトウェア販売に比重を置いた政策を推進しております。また、2018年11月26日付で、日栄インテック株式会社と業務提携を行い、新たにエネルギーコスト削減事業に参入いたしました。

その結果、売上高は383,889千円(前年同四半期比26.9%減)となり、営業損失65,533千円(前年同四半期は営業利益28,679千円)、経常損失64,806千円(前年同四半期は経常利益28,119千円)、四半期純損失44,212千円(前年同四半期は四半期純利益17,002千円)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (ASPサービス事業)

当社は、顧客である外食企業に対し、ASPサービス事業を核としたASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。当事業におきましては、売上高は368,237千円(前年同四半期比28.0%減)となり、セグメント損失は61,996千円(前年同四半期はセグメント利益28,653千円)となりました。

##### ① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規獲得及び既存顧客へのサービスの拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売に注力した結果、売上高は254,430千円(前年同四半期比6.3%減)となりました。

なお、月額サービス料は、3ヶ月累計で243,733千円(前年同四半期比4.6%減)となりました。

##### ② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムについて、既存顧客の出店対応、リプレイスなどを行った結果、外食業繁忙期と重なったこと、既存顧客の出店ペースが落ち着いたことなどにより、売上高は68,246千円(前年同四半期比64.7%減)と、大幅な減収となりました。

##### ③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、提携先製品の販売、機器修理などのインテグレーション、サプライ製品などの販売に注力した結果、売上高は45,559千円(前年同四半期比1.4%減)となりました。

#### (ホテル関連事業)

当社は、ナチュラルグリーンパークホテルの管理運営を行っております。当事業におきましては、売上高は15,652千円(前年同四半期比13.1%増)となり、セグメント損失は3,537千円(前年同四半期はセグメント利益25千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、2,119,563千円となり、前事業年度末に比べ90,301千円減少いたしました。これは主に前渡金22,226千円、商品7,543千円などの増加の一方、売掛金133,818千円の減少などによるものであります。

負債合計は1,530,323千円となり、前事業年度末に比べ21,325千円減少いたしました。

これは主に短期借入金70,000千円の増加の一方、未払消費税等56,164千円、長期借入金31,251千円の減少などによるものであります。

純資産は589,240千円となり、前事業年度末に比べ68,976千円減少いたしました。これは、四半期純損失44,212千円の計上、配当金の支払い24,635千円などに伴う利益剰余金68,848千円の減少によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は引き続き、従来からのASPサービス、パッケージ型の「飲食店経営管理システム(R)」を核としたトータルソリューションシステムの提供と、新たに参入したエネルギーコスト削減事業につきまして積極的に推進してまいります。2019年9月期の業績予想につきましては、2018年11月26日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	173,971	171,021
売掛金	<u>235,610</u>	<u>101,792</u>
商品	<u>358,924</u>	<u>366,467</u>
貯蔵品	25,091	26,974
前渡金	<u>24,381</u>	<u>46,608</u>
前払費用	<u>19,740</u>	<u>21,258</u>
未収入金	23,577	20,798
その他	86	505
貸倒引当金	<u>△2,212</u>	<u>△1,047</u>
流動資産合計	<u>859,172</u>	<u>754,378</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	<u>383,898</u>	<u>379,690</u>
構築物（純額）	16,916	16,528
工具、器具及び備品（純額）	<u>147,183</u>	<u>147,859</u>
土地	139,627	139,627
リース資産（純額）	60,548	56,554
建設仮勘定	845	845
有形固定資産合計	<u>749,018</u>	<u>741,105</u>
無形固定資産		
ソフトウェア	<u>62,994</u>	<u>63,388</u>
ソフトウェア仮勘定	<u>236,060</u>	<u>236,144</u>
電話加入権	2,445	2,445
特許権	578	555
無形固定資産合計	<u>302,078</u>	<u>302,533</u>
投資その他の資産		
関係会社株式	10,200	10,200
出資金	10	10
長期前払費用	<u>140,468</u>	<u>139,919</u>
敷金及び保証金	13,108	13,108
繰延税金資産	<u>53,428</u>	<u>74,495</u>
長期未収入金	109,792	109,792
その他	19,140	20,572
貸倒引当金	<u>△46,552</u>	<u>△46,552</u>
投資その他の資産合計	<u>299,596</u>	<u>321,545</u>
固定資産合計	<u>1,350,692</u>	<u>1,365,184</u>
資産合計	<u>2,209,864</u>	<u>2,119,563</u>

(単位: 千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,691	75,413
短期借入金	500,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	129,175	128,341
リース債務	17,253	17,253
未払金	66,568	52,886
未払費用	14,867	14,007
未払法人税等	6,013	1,820
預り金	20,287	26,257
前受金	<u>139,526</u>	<u>149,257</u>
賞与引当金	19,029	4,681
未払消費税等	66,183	10,019
流動負債合計	<u>1,037,596</u>	<u>1,049,938</u>
固定負債		
長期借入金	420,406	389,155
リース債務	48,453	44,139
退職給付引当金	32,106	34,004
その他	13,085	13,085
固定負債合計	<u>514,051</u>	<u>480,384</u>
負債合計	<u>1,551,648</u>	<u>1,530,323</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	327,723	327,723
利益剰余金	<u>△169,762</u>	<u>△238,610</u>
自己株式	<u>△37,741</u>	<u>△37,779</u>
株主資本合計	<u>658,081</u>	<u>589,195</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134	44
評価・換算差額等合計	134	44
純資産合計	<u>658,216</u>	<u>589,240</u>
負債純資産合計	<u>2,209,864</u>	<u>2,119,563</u>

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
売上高	525,185	383,889
売上原価	<u>326,276</u>	<u>252,982</u>
売上総利益	<u>198,908</u>	<u>130,907</u>
販売費及び一般管理費	<u>170,229</u>	<u>196,441</u>
営業利益又は営業損失 (△)	<u>28,679</u>	<u>△65,533</u>
営業外収益		
助成金収入	750	900
貸倒引当金戻入額	—	1,164
受取保険金	—	1,670
雑収入	287	239
営業外収益合計	<u>1,037</u>	<u>3,974</u>
営業外費用		
支払利息	2,556	2,625
支払保証料	123	—
支払補償費	462	—
支払手数料	<u>416</u>	<u>622</u>
その他	38	—
営業外費用合計	<u>3,598</u>	<u>3,247</u>
経常利益又は経常損失 (△)	<u>26,119</u>	<u>△64,806</u>
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	<u>26,119</u>	<u>△64,806</u>
法人税、住民税及び事業税	433	433
法人税等調整額	<u>8,682</u>	<u>△21,027</u>
法人税等合計	<u>9,116</u>	<u>△20,593</u>
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	<u>17,002</u>	<u>△44,212</u>



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ASPサービス事業	ホテル関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	511,347	13,837	525,185	—	525,185
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	9,832	9,832	△9,832	—
計	511,347	23,669	535,017	△9,832	525,185
セグメント利益	<u>28,653</u>	25	<u>28,679</u>	—	<u>28,679</u>

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ASPサービス事業	ホテル関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	368,237	15,652	383,889	—	383,889
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	10,928	10,928	△10,928	—
計	368,237	26,581	394,818	△10,928	383,889
セグメント損失(△)	<u>△61,996</u>	<u>△3,537</u>	<u>△65,533</u>	—	<u>△65,533</u>

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。